にいがた新築大作戦 ⑬

吹き抜けを中心部に

平面の決定

設計コンペのおかげで魅力的なプランが集まりました。このプランを基に、家内と一緒に満足できる新しい平面プランの検討を行いました。

提案されたプランのほとんどは三階建てでしたので一階に駐車場、機械室、二階にLDKと水回り、三階に個室を配置する具体的なプランを考えました。

駐車場は縦に二台入れると出入りが面倒になりますので、横に二台並べることにしました。

その結果、玄関は二階に配置することになりました。駐車場の奥に直接室内に入れるドアを設け、雨や雪の日でもぬれないで家に入れるようにしました。

二階のプランはさまざまな提案があり、決めるのに苦労しました。玄関と一階からの階段の位置は、決まっています。

南側を一部屋にするか、二部屋にするかでまず悩みました。コンペに参加してもらった五社のうち、A社、B社は二部屋。C社は大きな居間が一部屋で、北側に六畳の和室がありました。

大きな居間も魅力的でしたが、結局南側を二つに分けて、フローリングの居間と八畳の和室にしました。居間と和室の間は開放的に造り、普段は連続して使えるようにしました。

南側が決まると後は居間の北側に食堂、台所、北西の角に風呂、洗面所と、比較的すんなり決まりました。

三階には三部屋あればよいので面積からいって一部屋分のスペースが余ります。このスペースを吹き抜けにすることにしました。吹き抜けは採光や通風の点からも効果的といわれています。この吹き抜けの場所に悩みました。

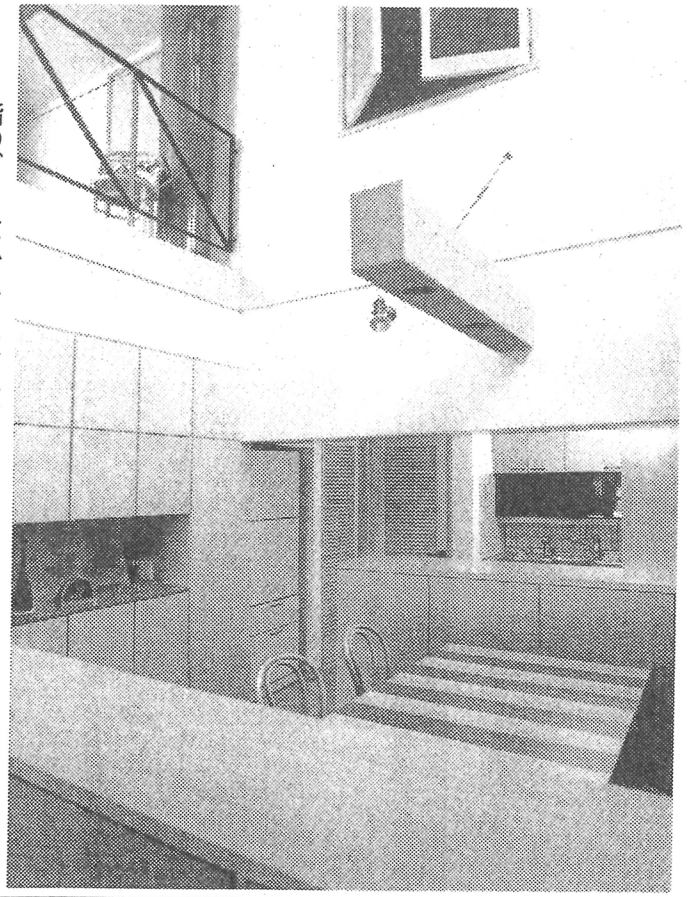
候補は二カ所でした。一つは南側の居間の上、もう一つは食堂の上でした。居間の上を吹き抜けにして天井までの大きな窓をつければ、大変ぜいたくな空間になります。また、三階の部屋から見た景色も気分が良さそうでした。

居間の上を吹き抜けにすると、この部分がぜいたくになりすぎて食堂の部分が貧弱になってしまいます。吹き抜けを家の中心に持ってくることにより採光、通風を確保できる点も魅力でした。結局、食堂の上を吹き抜けとすることにしました。

三階は南に寝室、子供室、北側に書斎を設け、階段を上がったところにトイレとホールを設けました。結局のところ、4LDKの豪華なプランになってしまいました。

吹き抜けを通して三階のホールから、食堂が見えるようにしました。ホームパーティーを開いたときに上と下で話ができると思うと、わくわくしてきました。

（赤林伸一・新大自然科学研究科助教授）



2階のダイニングから吹き抜けを通して3階のホールを見上げる